



~欧州市場開拓~



The Japan Observatory at MU 2016AW

一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 テキスタイル事業運営委員長 貝原 良治

イタリア各所で開催されていた複数の展示会を1つにまとめ、2005 年よりスタートした「Milano Unica <ミラノ・ウニカ /以下、MU>」は、世界最高峰と言われるパリの素材展示会「Première Vision<プルミエール・ヴィジョン/以下、 PV>」と並んで、世界中の素材調達バイヤーが集う欧州の2大素材展示会と位置付けられています。広く海外からの出 展社を受け入れる PV に対して、MU は欧州以外の出展社を受け入れて来ず、素材分野での"もの作り大国イタリア"を 保持してまいりましたが、その門戸が2014年9月に日本に開かれました。その理由は、日本の伝統的な感性とイノベー ションによる素材の独自性、そしてイタリア同様に素材への造詣の深さが理解され、何よりも MU に来場するバイヤー から「日本製素材を見たい!」という強い要望が挙げられたことに起因しております。

昨年9月、今年2月とシーズンとしての来場者の差異はありましたが、商談という観点では「充実した商談を行うことが できた」、「質のバイヤーが多い」と出展社から評価をいただいております。また、来場バイヤーからも「独自の風合いと 感性、高品質なコンパクト素材に魅力を感じる」、「今後も日本の技術力、常に研究し開発するイノベーションカに期待し ている」という声もいただいております。

輸出促進を渇望する企業にとっては現在の円安は追い風であり、欧州バイヤーから期待が寄せられている今、日本 の高品質な素材を提案し、ビジネスに繋げる千載一隅の好機だと確信しております。また次回の MU は、ミラノ万博の 最中であり街を上げての盛り上がりと、多数のバイヤーが訪れる事が予想されます。

「The Japan Observatory at Milano Unica」の成功のために、JFW テキスタイル事業事務局も過去2回のバイヤ 一の声を活用したセミナーや個別相談会等も実施していく予定です。

どうぞこの機会に、ご参加をご検討いただければ幸いです。

<The Japan Observatory at Milano Unica 2016SS(2015 年 2 月開催)の主な著名来場バイヤー>

プラダ、グッチ、ドルチェ&ガッバーナ、ディー・スクェアード、マルニ、ジョルジオ・アルマーニ、フェンディ、ディーゼル、ミッソーニ、 バレンシアガ゛、フェラガモ、ジル・サンダー、ニール・バレット、ジバンシィ、エルメス(オム)、インコテックス、ジャンニ・ベルサーチ、 ボッテガ・ベネッタ、カール・ラガーフェルト、クリスチャン・ディオール、モンクレー、バーバリー、エトロ、コスチューム・ナチュラル、 ピエール・バルマン、ロベルト・カヴァーリ、エミリオ・プッチ、マッキントッシュ、フィラ、バレンティノ、ブルックス・ブラザース、エスカー ダ、ラルフ・ローレン、トミー・フィルフィガー、トッズ、E・ゼニア(ガーメント)、ルイ・ヴィトン、サンローラン、ヒューゴ・ボス 等

Milano Unica 展示会概要

【出展概要】

◆ 展示会名 :21st Milano Unica

会 期 :2015年9月8日(火)~10日(木) 9:00~18:30

主 :Milano Unica Secretariat

숲 場 : Fiera Milano City (フィエラ・ミラノ・シティ)

Milano Unica



イタリア国内で別々に開催されていた

■モーダ・イン(婦人服地)

■イデア・ビエラ(ビエラ地方の紳士服地)

■イデア・コモ(コモ地方の高級婦人服地) ■シャツ・アヴェニュー(シャツ地)

の 4 見本市を合同で開催する世界的なテキスタイル見本市。2005 年より、年に 2 回(2 月 < SS >、9 月<AW>)開催し、パリのプルミエール・ヴィジョンと並ぶ、大規模な素材展示・商談会で す。





前年同期実績 <2015 Autumn / Winter (2014 年 9 月)開催実績より>

■開催期間: 2014年9月9日(火)~11日(木) 9:00~18:30

■開催場所:フィエラ・ミラノ・シティ(Fiera Milano City)

■出展内容:テキスタイル・副資材

■出展社数:410 社(内 74 社がイタリア以外の欧州より出展) +日本 29 社・団体

■入場料:無料

■入場者数: 約 21,800 名 <参考: 2015 年 2 月展(2016 Spring / Summer): 約 18,000 名強>

■大幅増減となった主な来場国(2014年2月展対比):

(増)インド(+38%)、日本(+44%)、トルコ(+28%)、オランダ(+7.5%)、USA(+6.55%)、スペイン(+6%)

(減)韓国(-41%)、ロシア(-21%)、HK(-18%)









The Japan Observatory at MU 2016AW

◆概要

主 催:一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)

協 力:日本繊維産業連盟 後 援:経済産業省(予定)

会場規模: 420 ㎡(予定) ビジネスコーナー(出展企業商談ブース集積) + Japan PR コーナー

出展場所: Milano Unica 会場内の特別設置エリア (Fiera Milano City 2F Hall.2)

◆ 参加条件

- ・日本に生産基盤を置くテキスタイル製造・卸業の企業またはグループ(商社含む/組合での申込み可)
- ・出展者は日本のテキスタイル及び関連(テキスタイル・アクセサリー/サポート資材)メーカー又は取扱い企業であること。 一製造が日本で行われていること
- ーメーカーでない企業の場合は、主体的に素材・資材を企画し、自社リスクで販売していること
- ・出展者は法人組織を持ち人員及び製造体制が申請された売上高・生産活動内容と一致・適合すること。
- ・出展者は市場において中~ハイエンドをターゲットとしてビジネスを展開していること。また独自性のある高品質の製品レンジをオファーできること。
- ・出展者は商業的マナーを正しく守り自国の商工会の規則を遵守していること。
- ・出品商材に関して、全て「日本製」で製造されたものを出品すること。
- ※海外への輸出実績があり、商談会にて英語・イタリア語のビジネス対応ができること
- ※開催期間中に、ビジネス対応ができる人材を派遣できること(自社社員+エージェント配置可能)
- ※組合・団体で出展申込みを検討される皆様は、必ず「組合・団体で出展申込みを検討される皆様へ」を ご確認ください

◆ 出展のメリット

- ・ 今まで欧州以外の出展を認めて来なかった MU が、初めて欧州以外の出展を許諾した国が『Japan』。 世界中のテキスタイル業界でも、日本製素材への評価の高さから多くの取材が入る事が予想されます。
- ・『Japan Pavilion』というゾーニングが、中~高級品を取り扱うバイヤーを惹きつけます。
- ・ 集客力の高い Japan PR コーナーへ素材展示し、貴社ブースへバイヤーを誘導します。
- ・ ガイドブック作成や DM(電子媒体)送付等の広報活動によって、貴社を PR します。





・ 独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)により「The Japan Observatory」エリアへのハイエンドバイヤー来 場促進を行います。

◆ 商談ブース

- ■Milano Unica 仕様のスペシャル統一ブースで構成します
- ■参加料に含まれるもの
 - *スペース料金
 - * 統一パッケージブース(設営・撤去)
 - *「The Japan Observatory」公式カタログエントリー費
 - *「The Japan Observatory」トレンドフォーラム参加費
 - * 来場招待状(MU 発行の電子媒体/ E Card)
 - *MU 発行のサロンガイドへの社名掲載
- ■各ブース仕様(予定)
 - * 社名板、カーペット、照明、テーブル・イス、ウィンドウ壁面、ハンガーラック 他
 - * 別紙ブースイメージ図を参照ください

▶ 商談ブース参加料

- A) **18㎡**商談ブース参加料 (正面間口 4.00m×奥行 4.50m)
 - ・・・・9,000€<ユーロ>(税込/1 小間)
 - € の請求になりますが、「請求書発行日時点のみずほ銀行の TTS レート」にも応じます。
 - 例 1,305,000 円/1 小間 (rate1€ → 145JPY)
- B) **26㎡**商談ブース参加料 (正面間口 4.00m×奥行 6.50m)
 - …13,000€<ユーロ>(税込/1 小間)
 - € の請求になりますが、「請求書発行日時点のみずほ銀行の TTS レート」にも応じます。
 - 例 1,885,000 円/1 小間 (rate1€ → 145JPY)
- C) **36㎡**商談ブース参加料 (正面間口 8.00m×奥行 4.50m)
 - …18,000€<ユーロ>(税込/1 小間)
 - € の請求になりますが、「請求書発行日時点のみずほ銀行の TTS レート」にも応じます。
 - 例 2.610.000 円/1 小間 (rate1€ →145JPY)
- D) **52㎡**商談ブース参加料 (正面間口 8.00m×奥行 6.50m)
 - …26,000€<ユーロ>(税込/1 小間)
 - € の請求になりますが、「請求書発行日時点のみずほ銀行の TTS レート」にも応じます。
 - 例 3,770,000 円/1 小間 (rate1€ →145JPY)

《零細・中小企業向けイレギュラー商談ブース》

MU 主催者からは、最低小間ブースとして"18 ㎡"を提示されておりますが、JFW テキスタイル事業が実施している 事業では、零細・中小企業の皆様にとって最適なサイズをご用意すべきと思い、"9㎡"を些少ですがご用意すること にいたしました。ただし、"18㎡"が基本になりますので単体でのご出展の場合は同じく"9㎡"をご要望される企業と の共同ブースになりますので、事前にご了承ください。

- ※シェアスペースのため、1つの入口を使うことになります。
- E) 9㎡商談ブース参加料
 - …4,500€<ユーロ>(税込)

€ の請求になりますが、「請求書発行日時点のみずほ銀行の TTS レート」にも応じます。

例 652.500 円 (late1€ →145JPY)

- ※Milano Unica 仕様のスペシャル統一ブースで構成します
- ※9sqm(参加希望者数に応じて"18 ㎡または 26 ㎡または 36 ㎡等"をシェアする形になります)

◆MU 保険料

商談ブース参加料以外に、出展決定後に別途、出展される企業数に応じて、MU 保険料(1企業・グルー プ毎に $[95 \ 100]$)が MU より義務付けられております。





- ◆ 出展申し込み・提出書類: 下記 3 種の書類・サンプルを締切り期限までにご提出ください。
 - 1)出展申込書
 - 2)企業概要(1)~(3)
 - 3)企業概要調査素材(サンプル・スワッチ) 5~10点
- ◆ Japan Textile PR コーナー



「The Japan Observatory」コーナーの入口には、オリジナル施工による JAPAN TEXTILE PR コーナーを設けます。JFW が毎シーズン発信する TEXTILE TREND「JFW TEXTILE VIEW」をベースに、日本素材の魅力に焦点を当てた内容で出展企業の素材を展示し、各ブースへバイヤーを誘導します。

◆ 会場風景 (The Japan Observatory at MU 2016SS より)







- ◆ 出展申し込み締切り : 2015年4月3日(金) 必着
 - ※小間数に限りがあるので、お早めにお申し込みください。

応募多数の場合は、締め切り前でもご要望にお応えできない場合もございますので、ご了承ください。

- ※最終的な出展審査を MILANO UNICA が行いますので、ご応募いただいても審査を通らない場合がございますので、ご了承ください。
- ※個社ではなく団体、組合で申し込まれる場合は、「出展申込書」を団体、組合名で記載いただき、<u>企業</u> 概要及び審査用のサンプル・スワッチは参加される企業毎でのご提出をお願いいたします。

◆ お問い合わせ先

一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 テキスタイル事業事務局

TEL:03-6805-0791 FAX:03-6805-0793

E-Mail: in fo@japancreation.com

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-16 第五叶ビル 8 階



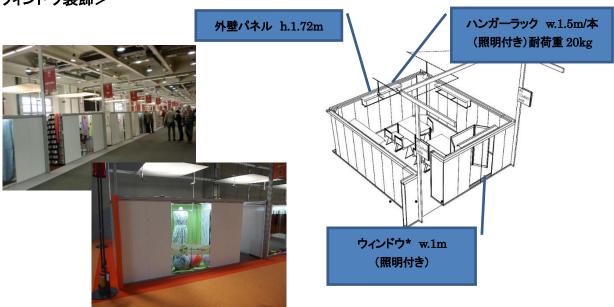


◆基本ブース仕様(2015 年 3 月 4 日現在)

<標準備品>

備品名	9 m ²	18 m ²	26 m ²	36 m ²	52 m [*]
テーブル	1	2	3	4	6
ゴミ箱	1(2社共有)	2	3	4	6
グラスチェア	3	6	9	12	18
収納チェスト	1(2社共有)	1	1	2	2
コートハンガー	1(2社共有)	1	1	2	2
ウィング(ウィンドウバック壁面)*	1(2社共有)	1	1	2	2
ハンガーラックw1.5m	2	3	4	6	8
グラスパネル(ウィンドウ)	1(2社共有)	1	1	2	2
ハロゲンライト	1	2	3	4	6
電源コンセント	1(2社共有)	1	1	2	2
社名板(片面)	1	2	2	2	2

<ウィンドウ装飾>



* MUの標準ブースは<u>ウィンドウ装飾付</u>のクローズドタイプになります。

ウィンドウ装飾: 出展者の一押しの提案素材や企業・団体のコンセプト・イメージを伝えるウィンドウは、来場者の関心喚起とブースへの誘引を図る重要なアピールの場です。

<ブース通路面の開放について(オプション)>

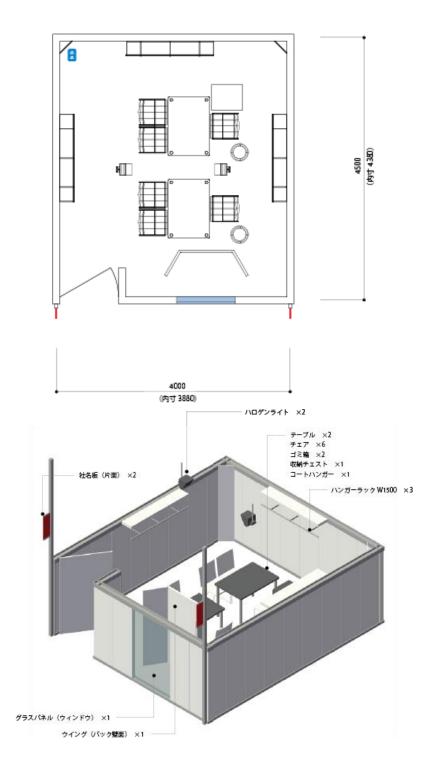
通路面の外壁パネル、ウィンドウ、及びドアは、ご希望により取り外し、全面開放とすることができます。部材の構成上、 ご希望のレイアウトを調整する場合があります。





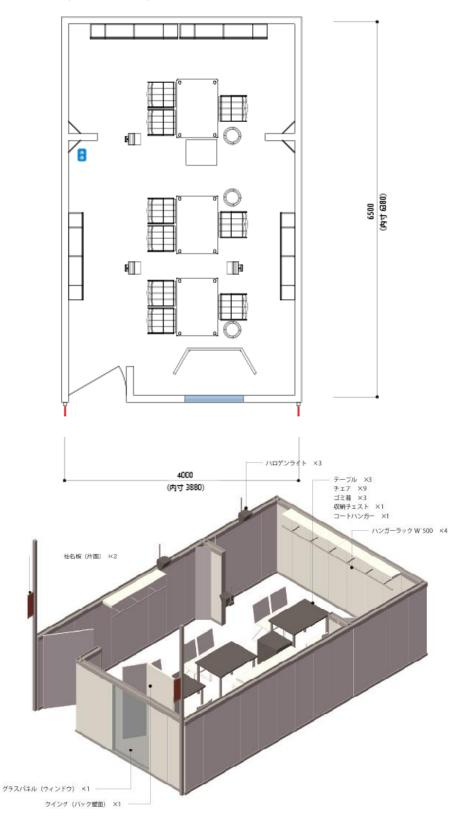


・ ブース仕様 18㎡ (w. 4.0 x d. 4.5m)





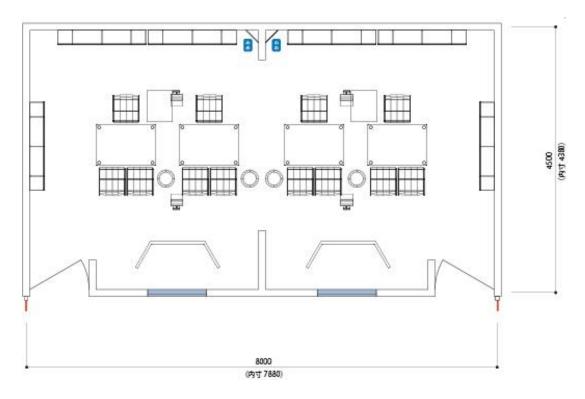
ブース仕様 26m² (w.4.0 x d.6.5m)

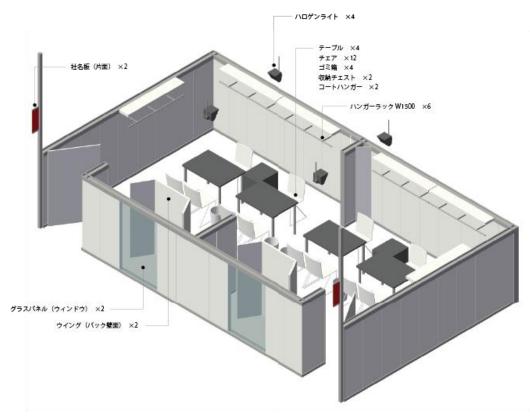




ブース仕様 36㎡ (w.8.0 x d.4.5m)

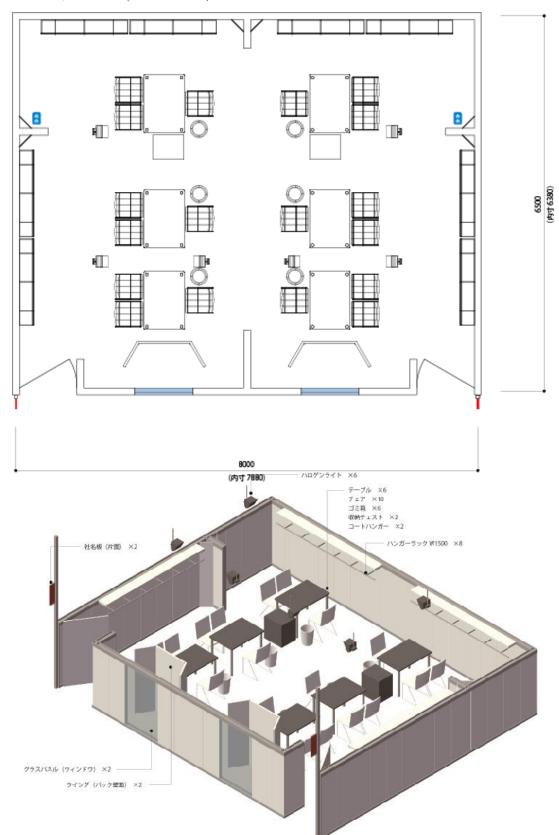
(ブース 9㎡ 4社共有の場合も同様に想定)







ブース仕様 52m² (w.8.0 x d.6.5m)







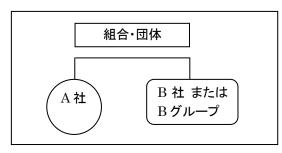
組合・団体で出展申込みを検討される皆様へ

- 1) MU 主催者はあくまでも18㎡を基本としており、それを受けて JFW としては、零細・中小企業の単独出展申込対応として共同ブース仕様の9㎡を提案させていただいております。
- 2)組合・団体による共同出展申込をされる場合、必ず全出品物においてビジネス対応できる体制を整え、各社・各グループより人材を常駐して下さい。ただし、欧州の展示会習慣を鑑み、ビジネスを行うスペースを適正に保つことを目的に、出展規模に応じて、参加可能な社数を制限させていただきます。
 - ※MU事務局及び過去の来場バイヤーの声からも、日本ブースの狭さ、ブース内での日本人の多さが指摘されておりますので、㎡に対する出展可能な社数を変更しております。
 - ・18㎡の場合、2社以内、うち1社分のみグループ可
 - ・26㎡の場合、3社以内、うち1社分のみグループ可
 - ・36㎡の場合、4社以内、うち1社分のみグループ可
 - ・52㎡の場合、<u>6社以内、うち2社分のみグループ可</u>
 - *グループとは、1社の枠に対し、複数企業が共同出品することを意味しております。その場合でもグループ内の代表者(及びエージェント)がブース内に常駐し、必ずビジネス対応ができることを条件とさせていただきます。
- 3)ブースには、申込者(組合・団体)の担当者、各社・各グループのビジネス対応担当者が、必ず常駐して下さい。 申込者が会期中に常駐できない場合は、参加企業各社の中から代表者を決めて下さい。

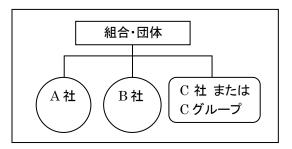
上記条件を逸脱する場合、MU 主催者の審査において「出展不可」の可能性が大きいと判断しております。

【出展事例】

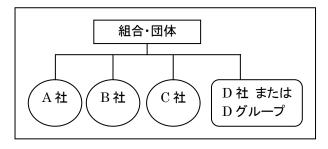
<18㎡の場合>



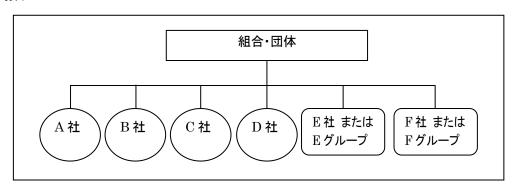
<26㎡の場合>



<36㎡の場合>



<52㎡の場合>





~欧州市場開拓~

The Japan Observatory

at Milano Unica 2016AW

出展申込み書類

出展規約 (必ずお読みください)

- -出展申込み締切:2015年4月3日(金)
- -出展料支払い締切:2015年5月22日(金)
- ー出展申込み後、MILANO UNICAにて出展審査が行われます。出展承認された企業へは、JFW より出展承認通知書を送付いたします。(4月24日頃予定)出展承認通知書送付後はキャンセルチャージがかかります。
- ーキャンセルチャージ: 2015年5月22日以前は出展料の50%、それ以降は100%
- 一出展応募多数の場合は、出展をお断りする場合がございます。
- 一出展者・出展品によっては、出展をお断りする場合がございます。
- 一出展品が、日本製以外である判断した場合は、出展をお断りする場合がございます。
- -<u>最終的な出展審査を MILANO UNICA(以下 MU)が行いますので、ご応募いただいても審査を通らない場合が</u> ございますので、ご了承ください。
- ー出展決定後であっても、JFW 及び MILANO UNICA が義務付ける書類提出や規定に対して著しく対応に問題が あると判断した場合は、出展をご辞退いただく場合がございます。
- ー ブース出展(小間)位置は MU と JFW 協議の上、決定しておりますので、不服申し立ては出来ません。
- ーご提出いただきました資料の一部を MILANO UNICA へ提出することになっておりますので、ご了承ください。
- ー個社ではなく団体、組合で申し込まれる場合は、「出展申込書」を団体、組合名で記載いただき、<u>企業概要</u> 及び審査用のサンプル・スワッチ(**参加企業毎に5点以上10点以内**)は参加される企業毎でのご提出をお願い 致します。
- ー組合・団体で申し込まれる場合は、必ず全出品物においてビジネス対応できるよう、各社・各グループのビジネス対応担当者が常駐する体制を整えてください。
- ーJFW が招集する「出展者説明会」や「トレンドレクチャー」等、出展・出品に関する会合には、組合・団体で申し 込まれる場合であっても、出展する企業の担当者が必ず出席するようにして下さい。

以上規約をご了承のうえ、出展申込書に記名、捺印のうえ、FAX、郵送、E-Mail のいずれかの手段でお申込み下さい。

お申込みをいただいた情報は、適切に管理し、本事業運営のために使用いたします。

「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2016AW に関するお申込み・お問合せ先

一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 テキスタイル事業事務局

TEL: 03-6805-0791/FAX: 03-6805-0793

E-Mail:info@japancreation.com

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-16 第五叶ビル8階





■「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2016AW (2015年9月開催)

出展申込書

		日本国内に籍を置く繊維関連企業であるこ			□NO			
	出展品の全ての生産地が日本であること。			□NO				
		JFW 及びジェトロが実施するアンケート及び □同意する □同意しない		- アッフ調査に協力するこ	ے۔			
	出展条件	□问息する □问息しない JFW 及び MU が定める規定を順守するこ]意する	□同意しない			
	H-12/11	(MU一般規定の同意書、小間位置、出品物			□ 1-11mO.Φ v ·			
		JFW が招集する会合には、単体出展者は			る場合であっても、と	出展する企		
		業の担当者が必ず出席すること。						
L		□同意する □同意しない	,1					
Ī		(和文)						
	出展企業名	(英文)						
	ルキャイク	(和文)	代表者役職	(和文)				
	代表者氏名	(英文)		(英文)				
ſ		(和文)	担当者	(和文)				
	担当者氏名		部•課 役職					
		(英文)		(英文)				
		(和文)〒 一						
	住所	(英文)						
	TEL		FAX					
	E-mail		URL					
Γ		- ナニコ L I 1 サゴチナ '記すぐ - *ニココ ノル ・ ナ ェ 、						
		下記より業種を選びご記入ください。	→ (`				
	業種	※その他の場合も業種をご記入ください。 → ()						
		()製造業 ()商社・コンバ	ベーター・卸売業	()団体・組合				
ŀ		()デザイン ()その他						
		統一商談ブース 1 小間 (
		() 26㎡ < 13,000€(税込) > × () 小間						
	申込小間数	() 36㎡<18,000€(税込)>×()小間						
		() 52㎡<26,000€(税込)>×()小間 () 9㎡< 4,500€(税込)> ※9㎡は1小間のみ受付けます。						
					-			
() その他 ⇒ ()㎡ ※18㎡または26㎡の倍数になります。 アパレルファブリック								
		コットン()% ウール()%	シルク()% リネン/ラミー()%			
	==	化合繊()% ニット()%	機能繊維()% レース/刺繍()%			
	出展品	その他()%						
(合計 100%で記入) ファイバーヤーン(<u>)%</u> アクセサリー								
			ゔッパー ()% スレッド/テープ()%			
L		ラベル()% その他()%						
	応用分野		子供/幼児(
L	(合計 100%で記入)	スポーツ/カジュアル()% 水着	/ランジェリー ()%				
	出展規約を承認	忍の上、上記のとおり出展を申し込みま	ミす 。	日付 2015 年	月	<u>日</u>		
			9 . I . wher . Am					
		書社名 / ご担	出去名			(ÉII)		

申込書送付先 ⇒ JFWテキスタイル事業事務局 FAX: 03-6805-0793 / E-mail: info@japancreation.com



「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2016AW

企業概要(1)

	(和文)								
出展企業名	(英文)								
+D \U = 2. A	(和文)								
担当者名	(英文)								
	TEL:				FAX:				
連絡先	E-Mai	1:			URL:				
創立年	西暦	年		本社所	生地				
資本金			百万円	従業員	数		人		
(出資金)						(内役員数	ξ :	人)	
	·過去	の売上高の推移(単位					1		
		2011	201	2	2	013	20	14	
年間売上高									
1 14176		 輸出の割合	輸出の割合	<u> </u>	輸出の割]合	輸出の割合	<u> </u>	
		()%	()%	()%	()%	
									_
	直近0)主な輸出先(国名)を順	質位付けし、輸)出額を10	00%にした	時の全体売.	上高の割合を	記載下さい。	
	1.			()%				
主な輸出先)%				
(国名))%				
(=17))%				
	5			()%				
	過去 <i>σ</i>)生産数量(取扱数量) <i>0</i>	の推移 (単位	٠.)			
年間生産数量	~==	2011	201		2	 013	20	14	
取扱数量									
	∙過去	1年間の <u>国内</u> 展示会開作	崔回数()	回 ※主催	者としての回]数(自社個属	Ę)	_
	•過去	1年間の <u>海外</u> 展示会開作	崔回数()	回 ※主催	者としての回]数(自社個用	€)	
	•過去	・過去1年間の国内合同展示会出展回数()回							
展示会実績	⇒主な	出展展示会名称()	
- 過去1年間の <u>海外</u> 合同展示会出展回数() 回									
<u></u> ⇒主な出展展示会名称()	
	・過去	1年間の展示会出展の3	 主な成果						_
	~	111101201201	_ 0.7,45/4						
商品開発	•過去	 1年間の商品開発状況							_
実績			~50 品	□50) 品以上				
営業力	※該当する項目の口にチェックを付けて下さい。 □ 見本帳及びハンガーサンプルの完備 □ 自社での営業活動をおこなっている								
	*/ +	◆ ±で営業をしている販売:							



「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2016AW

企業概要(2)

出展品の取扱い 価格帯(/m)	□>€71 ()% □€70-31 ()% □€30-26 ()% □€25-21 ()% □€20-16 ()% □€15-11 ()% □€10-6 ()% □<€5 ()%				
	□自社販売 □日本国内パートナー企業(商社/エクスポーター)を通して販売 ⇒(名称) □未定				
	・イタリア支店/事務所の有無 □イタリア国内無し □イタリア国内あり ⇒□現地法人 □事務所 (名称)				
対イタリア ビジネス	□イタリア以外の欧州にあり ⇒(国名)/(名称)				
	・イタリアエージェントの有無 □イタリア国内無し				
	□イタリア国内あり ⇒(名称) □イタリア以外の欧州にあり ⇒(国名)/(名称)				
	・対応可能言語<自社・イタリア支社・欧州支社・国内パートナー企業・イタリアエージェント含む> □イタリア語 □英語 □日本語のみ				
主な生産設備、 生産背景	・主な生産設備、生産設備が自社にない場合は製造工程別の生産チーム組織・フローを図で示して下さい。 ・仕入れ先や協力工場の社名と生産地を書いて下さい。 ■主な生産設備記入例 ABC 織機〇台、XYZ 編機〇台等 ■生産チーム組織記入例 企画部 生産加工部 /〈主な仕入れ先〉 \〈主な協力工場〉 営業部				
	・主な生産設備・・・織機名()/()台				
	直近の主な海外販売先(取引先)上位5社の社名と販売先総数を挙げてください。(英語表記)				
	1. 社名: 業種: 2. 社名: 業種:				
主要販売先	3. 社名: 業種:				
	4. 社名: 業種: 5. 社名: 業種:				
	販売先総数: 社				



「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2016 AW

企業概要(3)

ターゲット	今後の販路開拓先…ターゲットとしている、カテゴリーを選択下さい。また、具体的な企業名またはブランド名がある場合は、英語表記にて記載下さい。(海外に限る) □ハイエンド(クチュール・デザイナーブランド) □ハイエンド~中間層 □SPA 大量販売メーカー 具体的な企業名またはブランド名(英語表記) 1. 2. 3. 4. 5.
出展品の企画・ 商品開発	*企画上の強み、開発素材・商品の特徴、技術上のポイント等
「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2016AW に 向けて	*「The Japan Observatory at MU 2016AW」に特に出品したい素材(メイン素材)について記載して下さい。※「固有名詞」の場合は要・英語表記
その他	* 自社 PR、特筆すべき点がありましたら自由にご記入下さい。

日付 2015 年	Я	

申込書送付先 ⇒ JFWテキスタイル事業事務局 FAX: 03-6805-0793 / E-mail: info@japancreation.com

出展申込締切日 2015 年 4 月 3 日(金)



生地

表



- 素材提出用紙

「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2016 AW

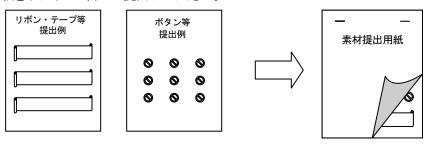
企業概要調査 素材提出用紙

【素材の提出について】

- ■本用紙は素材の提出枚数分をコピーしてください。
- ■貴社の取り扱う代表的な素材を数点提出してください。 (5点以上10点以内)
- ■本用紙に、必要事項を明記のうえ、A4サイズ程度にカットした素材をホチキス留めしてください。
- ■用紙1枚に1素材を添付してください。

【服飾資材の提出について】

■商品ごとに A4 サイズ程度の台紙にホチキス等で外れないように固定し、 本用紙をホチキスで留めて提出してください。



【提出先】

一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 JFW テキスタイル事業事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-16 第五叶ビル 8 階 TEL:03-6805-0791 FAX: 03-6805-0793 E-mail: info@japancreation.com

出展申込締切日 2015 年 4 月 3 日(金)

貴社名	
(Company Name)	
品番	
(Material No)	
混率	
(Composition)	
規格	
(Width × Length × Weight)	
価格	
(FOB Japan ¥/m)	
素材の特徴	
その他	

※「The Japan Observatory」at MU 2016AW 出展に当っては、日本生産の出展品に限定しております。